

# 平成23年度 事業報告書

公益財団法人 日本レクリエーション協会

## 目 次

(ページ)

平成23年度の事業運営の概要	1
1. 国民がレクリエーション活動に主体的に参画することを促す啓発活動の展開	4
(1) 加盟団体等との連携によるレクリエーションの普及・啓発事業	
(2) 情報発信の強化	
2. 地域や職場等で活躍するレクリエーション支援者を育成・支援	9
(1) レクリエーション公認指導者の養成・支援	
(2) レクリエーション公認指導者への支援の拡充	
(3) レクリエーション支援者の裾野の拡大	
3. レクリエーション支援者が結集し、事業を行う組織の育成・支援	19
(1) レク運動の担い手が結集する市区町村レクリエーション協会等の育成・強化	
(2) 組織育成・強化のための基盤整備	
4. 笑顔を実現しやすい社会の仕組みづくりの展開	24
(1) 国等との連携・協力を通して、国民の生きがいづくりへの貢献	
(2) 幅広い社会の課題に対するレクリエーションの活用促進	
(3) 東日本大震災復興支援事業	
5. 財政基盤、事務局機能の強化及びその他の事業	34
(1) レクリエーション活動のための用具・書籍等の販売	
(2) 国際機関との連絡・協調	
(3) 顕彰制度及びその他事務局運営に関わる事業	
* 平成23年度都道府県別公認指導者数一覧	36

## 平成23年度の事業運営の概要

平成23年度は、本協会が新たな公益財団法人として再出発した年度であり、東日本大震災復興への貢献という新たな課題に取り組む初年度となった。厳しい経済状況が続く中で、日本レクリエーション協会は、この一年を「レクリエーション運動の新たな一歩」と位置づけ、関係者、関係団体の力とこれまでの活動の成果を結集し、国民一人ひとりの「笑顔」や「元気」の実現とレクリエーション運動のための基盤強化を目指し、次の4つの柱に基づき、事業を展開した。

国民がレクリエーション活動に主体的に参画することを促す啓発活動の展開  
地域や職場等で活躍するレクリエーション支援者の育成・支援  
レクリエーション支援者が結集し、事業を行う組織の育成・支援  
笑顔を実現しやすい社会の仕組みづくりの展開

### 1. 国民がレクリエーション活動に主体的に参画することを促す啓発活動の展開

幼児から高齢者、障害者まで多数の市民が、レクリエーション活動を通じて、交流の楽しさや喜びを得るためのきっかけとなる全国レクリエーション大会等の開催やホームページ等による情報提供事業を加盟団体等と連携して展開した。

また、こうした普及・啓発事業を通じて、多くの市民がレクリエーションの価値・意義を気づき、日常的にレクリエーション活動に親しむ生活態度の醸成を図った。（P.4～P.8）

### 2. 地域や職場等で活躍するレクリエーション支援者の育成・支援

#### (1) レクリエーション公認指導者の養成・支援

大学、短期大学、専門学校等の高等教育機関（以下、「高等教育機関」という）や都道府県レクリエーション協会（以下「都道府県協会」という）及び市区町村レクリエーション協会（以下「市区町村協会」という）との連携・協力による養成事業については、厳しい経済状況の中でも、現行の課程認定校に対する公認指導者養成の活性化策や助成事業等の活用を講じたことにより、目標とする新規指導者数を養成することができた。（新規登録指導者数：10331名）

また、介護、保育、スポーツ振興等の領域で、高い専門性を持つレクリエーション・コーディネーターや福祉レクリエーション・ワーカー養成における通信講座、スクーリングの新規受講者数は、昨年より上向き傾向になってきた。さらにレクリエーション・コーディネーター養成事業は、都道府県レクリエーション協会の組織の担い手育成事業としても定着してきた。

資格の登録更新率については、ここ数年の都道府県協会等との連携による支援事業の成果と考えられるが、前年の51.4%から55.5%と4ポイント向上した。（P.9～P.15）

#### (2) レクリエーション公認指導者への支援の拡充

レクリエーション公認指導者が知識、技能を高め、ひとり一人の活動を充実させることを目指した支援事業を実施した。その中で公認指導者の質の向上のためのスキルアップ講習事業の教材の提供や教授法等講師育成研修をt o t o助成、子どもゆめ基金助成事業とも連動させつつ、都道府県協会等との連携により実施した。（P.15）

### (3) レクリエーション支援者の裾野の拡大

高齢者の生き生きとした生活や、子どもたちや親子の豊かな体験を支えるなど、レクリエーション運動への幅広い一般市民の参画促進のためのボランティア育成事業を実施した。また、教育、福祉、医療等の領域の現任者（従事者、専門職者）のためのレクリエーション支援に関する学習の機会の提供についても、当該領域の専門職、施設等の団体と連携して全国33箇所で開催を行い、高い評価を得ることができた。（P.16～P.18）

## 3. レクリエーション支援者が結集し、事業を行う組織の育成・支援

### (1) レク運動の担い手が結集する市区町村レクリエーション協会等の育成・強化

レクリエーション公認指導者やレクリエーションの支援方法等が学んだ方々が結集し、相互に支えあい、高めあいながら、より身近な地域で幅広い市民を対象としたレクリエーション事業を展開する市区町村レクリエーション協会等の立ち上げや育成・強化に向けた事業に取り組んだ。身近な地域での活動野庭が増えることが、更新率の一層の向上に不可欠であり、今後さらなる強化が課題となっている。（P.19～P.21）

### (2) 組織育成・強化のための基盤整備

都道府県協会と連携して、公認指導者等のレクリエーション運動の担い手としての力量を高め、それらの人材が結集して事業を展開できる市区町村レクリエーション組織の強化、発展に取り組んだ。また、加盟団体代表者会議や都道府県協会ブロック会議等の会議における協議、情報交換の機会を通じて、都道府県協会等の組織運営基盤の強化のための支援を行った。（P.21～P.23）

## 4. 笑顔を実現しやすい社会の仕組みづくりの展開

### (1) 国等との連携・協力を通して、国民の生きがいづくりへの貢献

文部科学省、厚生労働省等からの委託事業や公的機関の助成・補助事業等により、スポーツレクリエーションを通じて健康づくりやコミュニケーション促進を図る支援者の育成事業や国民の生きがいづくり、笑顔づくりに向けた事業を展開した。（P.24～P.29）

### (2) 幅広い社会の課題に対するレクリエーション運動の促進

地域、家庭、職場等のさまざまな生活場面でのレクリエーションの積極的な活用に向けて、関係する機関、団体、行政等との連携事業を展開した。さらにそれらの成果を月刊レクルー、ニュースリリース、ホームページ等により必要とされる機関等に発信した。（P.29～P.30）

### (3) 東日本大震災復興支援事業への取り組み

本協会は、震災復興支援事業への取り組みを『東日本大震災支援事業・[笑顔 Again]プロジェクト』と名付け、本協会の重点事業の一つとして位置づけ、震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県のレクリエーション協会との連携により、被災者へ様々なレクリエーション活動による支援事業を実施した。（P.30～P.33）

## 5 . 財政基盤、事務局機能の強化

### ( 1 ) レクリエーション活動のための用具・書籍等の販売

都道府県レクリエーション協会等加盟団体と連携して、商品販売の促進を図るとともに、ホームページやパンフレット等の媒体を通じて、現場において実際に活用する商品購入者の目線での用具の紹介について一層の改善を図った。さらに活用現場に即した活用方法の提案を添える等、既存用具、書籍の付加価値を一層高めたことにより、用具・書籍の販売等に大きな成果を得ることができた。

( P . 3 4 )

### ( 2 ) 国際機関との連絡・協調

( P . 3 4 )

### ( 3 ) 顕彰制度及びその他事務局運営に関わる事業

( P . 3 5 ~ P . 3 6 )

# 1 .国民がレクリエーション活動に主体的に参画することを促す啓発活動の展開

## ( 1 ) 加盟団体等との連携によるレクリエーションの普及・啓発事業

### 1 ) 第 6 5 回全国レクリエーション大会 I Nしが

今年度の大会は、3月11日に発生した東日本大震災からの復興を祈念し、『東日本大震災復興支援事業』と位置づけ、寄付金を募るなどの支援策も行い、滋賀県内5市1町を会場に全国各地から1万人を超える参加者を得て、実施された。

総合開会式は、琵琶湖畔に位置する大津プリンスホテルを会場に、文部科学副大臣や総務大臣お迎えし、近江八景の紹介や葦笛の演奏などでスタートした。また、龍谷大学の学生チーム「レク龍(ドラ)」が制作した「ひこにゃん音頭」を学生自らリードし、会場の参加者と一体となって幕を開けた。続く、交歓の夕べでは、ギター演奏が花を添え、海外からのお客さまをはじめ、全国から集まった大会参加者が交流し、盛り上がりを見せた。また、龍谷大学を会場として実施された研究フォーラムでは、「矯正施設におけるレクリエーション教育」や障害者福祉など全国でも先進的な取り組みについてのセッションを展開した。さらに、運営面でも龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科の学生が実習として「全国レクリエーション大会プロジェクト」を立ち上げ、大会前から積極的に各プログラムに関わるなど、指導者養成の新しいスタイルを模索し、約1400名のスタッフが全国からの参加者をお迎えする大会となった。

主 催：(公財)日本レクリエーション協会、滋賀県レクリエーション協会、  
大津市レクリエーション協会、長浜市レクリエーション協会、  
近江八幡市レクリエーション協会、草津市レクリエーション協会、  
東近江市レクリエーション協会

共 催：滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、長浜市、  
長浜市教育委員会、草津市、草津市教育委員会、野洲市、野洲市教育委員  
会、東近江市、東近江市教育委員会、竜王町、竜王町教育委員会、龍谷大  
学

後 援：文部科学省、他関係省庁

期 日：平成23年9月23日(金・祝)～9月25日(日)

開 催 地：滋賀県県内各会場

参加対象：レクリエーション関係者、行政、教育関係者、一般市民など

内 容：「研究フォーラム」「種目別全国交流大会」「フェスティバル」「開会式、式典」

### 2 ) 全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2011

もう一度「あそび」の楽しさや大切さを知ってもらおうと、5月を中心とした約2ヵ月間をキャンペーン期間とし、全国各地で「あそびの日」を設け、さまざまな「あそび」の場の提供を展開するイベントを開催した。

また、子ども達だけではなく、大人達にとっても貴重な機会とし、子どもとふれ合いながら一緒に楽しむ中で、大人になって忘れかけていたものを、取り戻す機会としても実施。

今年度は、友だち同士のふれあい、家族のきずな、地域との交流と、さまざまな局面での「つながり」の大切さが再確認されることを期待し、「日本全国 あそびなう!!」をサブテーマとして、全国一斉「あそびの日」キャンペーンを展開した。

テーマ すべては子どもの笑顔のために  
サブテーマ:「輪・和・わ~!! つながり」

開催期間 2011年4月16日(土)~6月12日(日)

主催 公益財団法人 日本レクリエーション協会

共催 都道府県レクリエーション協会/財団法人 日本ユースホステル協会  
財団法人 休暇村協会/財団法人 公園緑地管理財団

全国後援 文部科学省/厚生労働省/総務省/全国市長会/全国町村会/

社会福祉法人 全国社会福祉協議会、社団法人 中央青少年団体連絡協議会

プログラムの内容

子どもたちと家族がふれあい、きずなが深まり、地域住民のつながりが生まれる様々な「あそび」の活動、イベントを展開。

スポーツ大会/体験イベント/自然あそび/クラフト/料理づくり/昔あそび

ウォーキング・イベント/踊り/ダンス/体操の会/運動会/チャレンジゲーム大会など、大小さまざまな活動やイベントを実施

<キャンペーン実施プログラム数、および参加者数>

日本レクリエーション協会加盟団体をはじめ、共催団体として公園緑地管理財団、休暇村協会、ユースホステル協会にも参画いただき、全体で796のプログラムを展開。全国で133,929人の参加者があった。プログラム数、参加者数は以下のとおり。

団体名	プログラム数	参加者総数(人)
(財)日本レクリエーション協会	263	44,283人
(財)公園緑地管理財団	19	52,967人
(財)休暇村協会	265	13,968人
(財)日本ユースホステル協会	249	22,711人
合計	796	133,929人

### 3) 第24回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレク“エコとちぎ”2011)

11月5日から8日の4日間にわたり、「とびっきり 栃木で いい汗 いい出会い」をスローガンに開催された「スポレク“エコとちぎ”2011」は、全国から延べ184千人(4日間累計)におよぶ参加者を得て、盛大に開催された。開会式は、栃木県総合運動公園で行われ、迫力ある太鼓演奏や野外歌舞伎舞踊で、全国や韓国からの参加者をお迎えした。また、その後の歓迎アトラクションでは、スポーツのあり方や関わり方を創作ダンスなどによる4つのシーンで表現し、最後は全出演者と各都道府県代表選手がグラウンドに集まり、2000個の風船を大空に放ち、来場者全員が感動と喜びを感じた開会式となった。

また、県内各地で開催した28の「種目別大会」では、各都道府県の代表選手や韓国選手が熱戦を繰り広げ、地域や世代をこえて交流を深めた。日本レク協会関係の種目として、都道府県代表参加種目5種目とフリー参加種目9種目および協賛事業の4種目が開催された。

さらに、開会式会場で2日間にわたって開催された「特別行事」においては、栃木県レクリエーション協会を中心に例年同様、ボランティアスタッフ一丸となって、各種のニュースポーツ体験コーナー18種目を実施し、趣向をこらしたスタンプラリーの実施などにより、各県選手団や親子連れなど多くの方々に楽しんでいただいた。

主 催：文部科学省、(公財)日本レクリエーション協会、(公財)日本体育協会、  
 (社)全国体育指導委員連合、栃木県  
 期 日：平成23年11月5日(土)～8日(火)  
 開 催 地：栃木県下13市8町  
 内 容：開・閉会式、都道府県代表参加種目、フリー参加種目、協賛事業、特別行事、シンポジウム等

#### 4)全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会(年間通じての開催)

いつでも、どこでも、記録に挑戦するゲームとして平成元年からスタートしている「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を実施。

やっておもしろく、見て楽しい、本大会への記録申請件数は2,560件。その主な種目のベスト3は以下の通りである

\*実施期日 平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間

<主な種目の記録ベスト3>

##### ロープジャンプ“EX”

順位	県	実施チーム	記録
1位	神奈川県	八松小 熱血 1組 2011	5467
2位	長野県	チャレンジ	580
3位	静岡県	宇佐美学園 B	460

##### ロープジャンプ“X”

1位	静岡県	宇佐美学園 B	2500
2位	静岡県	宇佐美学園 A	2460
3位	東京都	言問ファイターズ A	2421

##### ロープジャンピング“10”

1位	北海道	名寄小 6年 1組 あやしいチーム	329
2位	北海道	豊西小 5年 1組 300 回跳ぶまで帰れま 10	168
3位	北海道	名寄南小 6年 2組 TKG 爽快 MAX	163

##### キャッチング・ザ・スティック

1位	沖縄県	沖縄大学	55
2位	沖縄県	AKB沖縄大学	38
3位	福岡県	OISCA . B	31

##### ゴムダンス・“すてっぴん”

1位	新潟県	医龍 H	103
2位	新潟県	ぱっちゃん	56
3位	新潟県	チーム看護	54
3位	愛知県	三好丘小日本一クラブ・スマイルジャンピング 6	54

##### ドリブルレー

1位	岐阜県	マルモ	497
2位	岐阜県	チューリップ	322
3位	福井県	きのこと4つのチーズのペンネ	309

##### ネット・バスラー

1位	新潟県	田上 B	38
2位	新潟県	医龍	37

3位	新潟県	CCレモン3	31
ペア・リング・キャッチ			
1位	神奈川県	マキヨウユウララ	377
2位	島根県	ヤング2	321
3位	神奈川県	チーム たお	292

## (2) 情報発信の強化

### 1) 月刊 Recrew(レクルー) 誌の発行 (財)日本宝くじ協会助成事業)

題号を「REC」から「Recrew(レクルー)」にリニューアルして2年目。読者のライフスタイルを豊かにし、仕事や地域でのレクリエーション活動に役立つ情報の提供と、より読みやすいデザインを心がけて編集した。東日本大震災の被災地でのレクリエーションによる支援活動についても、5月号から被災地での活動の様子を掲載した。

また今年度は、5月号、7月号、11月号を電子媒体として発行し、新たな情報発信・提供の方法を試みた。さらに、より多くの人々にも親しまれ、レクリエーション協会の認知度を上げていくために、公認指導者だけでなく、一般読者にも楽しんでもらえる紙面作りを視野に入れて企画・制作を行った。

#### <紙媒体発行>

号 別	特 集
平成23年 4月号	みんなであそぼう！アートの世界
平成23年 6月号	日本をもっと遊ぼう！
平成23年 8、9月合併号	楽し恐ろし。妖怪・お化け
平成23年10月号	すごい農力！
平成23年12月号	お楽しみはこれからだ！ ～人生は、シニアからが面白い～
平成24年 1月合併号	「今」を変える力
平成24年 2、3月号	おしゃれはパワー！

#### <電子体発行>

号 別	特 集
平成23年 5月号	Let's デジタルレクリエーション
平成23年 7月号	元気が出るトーク！
平成23年11月号	宇宙に学ぶ

### 2) ホームページの拡充

一般向けサイト、公認指導者専用サイト、都道府県レクリエーション協会サイト、課程認定校サイト、サービスセンターサイト等による情報発信・収集と事務手続きが円滑に行われるよう、管理運営を行った。また、委託事業などは独自のサイトを制作し、トップページにバナーを設置。事業の詳細または報告書をダウンロードできる仕組みとした。

月刊 Recrew 誌で制作した誌面をホームページに転用し、レク・オンライン（公式ページ）の定期的な更新を行ったほか、公認指導者の活動事例や用具・書籍の情報発信量・回数、あそび事典で紹介するコンテンツ等を増やした。

< 新しく設置したバナー >

「健康づくりのためのレクリエーション」(厚生労働省委託事業)

「ロープ・ジャンプ・EX」(主催：フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会、特別協賛：パナソニック株式会社)

< 情報発信頻度 > (2011/04/01 ~ 2012/03/31)

「TOPICS」 / 109 回

「あそび.net」 / 613 件

「Team Recrew Activity Report」 / 35 回

### 3) ニュースリリース等の配信及び新たなメディアを活用した情報発信

月刊レクルー誌の配布に合わせ、マスコミ約 520 社（新聞（全国・地方・スポーツ）、テレビ局、ラジオ局、雑誌、タウン誌等）へのニュースリリースの配信を行った。また、配信したニュースリリースをホームページ（レク・オンライン）で公開した。

< 配信内容 >

\* 笑顔! Again!! 東北地方太平洋沖地震 義援金受け付け (2011/04/01)

\* 被災地に笑顔をとどけるレクリエーション・ボランティア (2011/06/01)

\* 放射線を気にせず外で伸び伸びと 子どもたちの夏休みキャンプ

「ネイチャー & レクリエーション楽宿 (がっしゅく)」開催! (2011/08/01)

\* 大震災を経た今、子どものあそびを再考する! (2011/10/01)

\* 被災地に笑顔をとどける レクリエーション・ボランティア活動中! (2011/12/01)

< 電子媒体でのリリース発信 >

インターネットを活用し、プレスリリース発信サイトから、ニュースリリースを発信した。

1本のロープでみんなの心を1つに! (2012/01/04)

全国一斉「あそびの日」キャンペーン2012 (2012/01/24)

東日本大震災被災者レクリエーション支援事業

「ネイチャー & レクリエーション楽宿 (がっしゅく)」開催 (2011/07/19)

大震災を経た今、子どものあそびを再考する! 『子どもが変わる、子どもを変える』

あそび活用研究フォーラム? 開催のお知らせ (2011/09/28)

< ツイッターを活用した情報発信 >

レクリエーション関連情報の発信とレクリエーション関係者とのつながりを目的として、ツイッター上での情報発信を実施。約 500 を越える情報発信と 2000 を越えるフォロワーとのネットワークづくりを行った。

< レク・ネットニュースの配信 >

月刊レクルー多くの公認指導者に読んでいただくため、特集などコンテンツ内容をメールニュースとして配信した。対象は、Eメールアドレスを登録し、名簿公開を了承している公認指導者へ行った。

## 2. 地域や職場等で活躍するレクリエーション支援者を育成・支援

### (1) レクリエーション公認指導者の養成・支援

#### 1) 都道府県レクリエーション協会と連携した公認指導者等の養成の拡充

- ア. 月刊レクルーを活用して都道府県協会が行う公認指導者養成事業の広報・PRや講習会への職員の派遣等による支援を行った。
- イ. 都道府県協会及び市区町村協会が行う養成事業を担う講師の育成について講師養成トレーニング研修の実施等による支援を行った。
- ウ. 現場に即した学習プログラム等の調査研究開発、都道府県協会と連携した養成事業のモデル開発及び成果の発信等、都道府県協会及び市区町村協会が行う養成事業の効果的な教育内容の伝達講習会を実施した。

#### 2) 大学、短期大学等の高等教育機関と連携した公認指導者の拡充

##### 高等教育機関との連携の拡充(課程認定校制度の普及)

##### <平成23年度課程認定校 養成課程数>

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	330課程
余暇生活相談員認定校	1課程
レクリエーション・コーディネーター認定校	11課程
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	33課程
合計	375課程

##### <平成24年度課程認定校 養成課程数>

「公認指導者養成制度」に基づき、公認指導者の養成を行うことのできる大学、短期大学、専門学校の課程認定審査を行った。

平成24年度は、これまでの課程認定申請を取り止めるケースに歯止めがかかり、前年度の養成課程数をほぼ維持する形となった。

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	333(新規:12、減少:9)
余暇開発士認定校	1(新規:0、減少:0)
レクリエーション・コーディネーター認定校	10(新規:0、減少:1)
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	30(新規:0、減少:3)
合計	374課程(新規12、減少13)

( )内は、平成24年度の新規課程数、および減少した養成課程数

研究、教育組織の育成、支援及び研究者 教育者の育成、支援

\* 領域別課程認定校集会の開催(課程認定校研究連絡会議との共催)

レクリエーション・コーディネーター養成課程認定校集会においては、養成カリキュラムの紹介と課程認定校における導入方法、及び今後のスケジュールの確認を行った。

また福祉レクリエーション・ワーカー養成課程認定校集会においても同様に、養成カリキュラムの紹介と課程認定校における導入方法、及び今後のスケジュールの確認を行った。

資格名	開催期日	会場	参加者数
レクリエーション・コーディネーター	11月5日(土)	水道橋西口会館会議室	16名
福祉レクリエーション・ワーカー	10月22日(土)	水道橋西口会館会議室	22名

### 高等教育機関と連携した高齢者・障害者のスポーツ・レクリエーション活動支援者養成事業 <スポーツ振興くし助成事業>

高齢者や障害者に対してスポーツ・レクリエーション活動を提供するための支援者養成事業を、高等教育機関(大学や短期大学、専門学校)と社会福祉協議会などの福祉団体、そして都道府県レクリエーション協会と連携し、プログラムの検討や講師の調整などを行って実施した。

長崎会場

第1回：平成23年8月10日(水) 長崎短期大学 30名参加

第2回：平成23年8月30日(火) 長崎短期大学 35名参加

岡山会場

第1回：平成24年1月21日(土) 旭川荘研修センターよしい川 45名参加

第2回：平成24年2月18日(土) 旭川荘研修センターよしい川 45名参加

### 課程認定校教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会

課程認定校において、教員の異動により急遽レクリエーション・インストラクター資格が必要になった教員に対して、短期集中型の養成講習会を開催した。

この講習会は、教員に限定して開講したことから、科目のポイントを伝えるだけでなく、演習方法や教授法のクリニックなど、参加した教員の教授力向上にも寄与する機会となった。

開催期間：平成24年2月10日(金)～12日(日) 3月3日(土)～4日(日)の計5日間

会場：貸教室・貸会議室 内海

参加者数：22名

## 3)高い専門性を持った公認指導者養成事業の強化

### 専門資格通信教育課程の実施

<レクリエーション・コーディネーター養成講座>

地域活動や都道府県レクリエーション協会等が実施する事業において活躍が期待される実践力のある指導者を養成するために、本年度は福島県、福岡県のレクリエーション協会に協力していただき、地域で実際に行われている事業を題材に講習会を展開した。

また福井県においては「都道府県レクリエーション協会の担い手育成事業」として、平成22年度から引き続き養成事業を実施した。

また、通信教育課程の実施については、特に開講期を設けず年間いつでも受講することができるよう制度の変更を行った。

ア．通信教育課程新規受講生 43名

イ．講習会

全国6会場(3コース各2会場)にて2日間の講習会を開催した。

回数	開催地	開催日程	会場	A	B	C
47	福島	9月10日～11日	福島県青少年会館(福島市黒岩)	16	-	-
48	福岡	10月9日～10日	アクション福岡 (福岡市博多区東平尾公園)	32	-	-
49	福島	11月19日～20日	福島県青少年会館(福島市黒岩)	-	15	-
50	福岡	11月26日～27日	アクロス福岡(福岡市中央区天神)	-	30	-
51	福岡	平成24年 1月28日～29日	アクロス福岡(福岡市中央区天神)	-	-	25
52	福島	平成24年 2月11日～12日	福島県青少年会館(福島市黒岩)	-	-	12
合 計				38名	35名	37名

<福祉レクリエーション・ワーカー養成通信教育課程>

学習内容の見直し作業と連動し、スクーリングのプログラムを展開した。今年度も昨年度に引き続きケアプラン等の介護計画とレクリエーション支援をより連動させて実施できるようになることを目指し、学習内容の改編に取り組んだ。この成果として、福祉レクリエーション・ワーカー養成カリキュラムの改定につなげることができた。

また、通信教育課程の実施については、特に開講期を設けず年間いつでも受講することができるよう制度の変更を行った。

なお、スクーリングのプログラムについては、一部を一般の受講生に開放し「介護レクリエーション・セミナー」として開催した。

ア．通信教育課程の実施

新規受講生 62名

イ．スクーリングの開催

回	開催地	会場	日程	受講者数		
				A	B	計
第152回	大阪	大阪社会体育専門学校	8/5～7	11	-	11
第153回	大阪	大阪社会体育専門学校	9/17～19	-	8	8
第154回	東京	国立オリンピック記念青少年総合センター	10/7～9	17	-	17

第 155 回	東京	国立オリンピック記念青少年総合センター	10/28～30	-	1 3	1 3
第 156 回	宮崎	宮崎科学技術館	11/11～13	1 4	-	1 4
第 157 回	宮崎	宮崎中央公民館	12/2～4	-	1 3	1 3
第 158 回	神奈川	ウイリング横浜	平成 24 年 2/4～6	2 1	-	2 1
第 159 回	神奈川	ウイリング横浜	平成 24 年 3/23～25	-	1 9	1 9
合 計				6 4 名	5 3 名	1 1 7 名

#### 4)公認指導者の知識・技能の審査・認定に関する諸事業の実施

##### 資格認定委員会の開催

##### < 第 1 回委員会 >

日 時 : 2011年9月12日(月) 14:00～16:00

場 所 : 水道橋西口会館6階 603会議室

##### < 第 2 回委員会 >

日 時 : 2011年10月17日(月) 14:00～16:00

場 所 : 貸教室・貸会議室 内海「1F教室」

##### < 第 3 回委員会 >

日 時 : 2012年3月7日(水) 13:00～15:00

場 所 : 貸教室・貸会議室 内海「1F教室」

##### < 第 4 回委員会 >

日 時 : 2012年3月30日(金) 13:00～15:00

場 所 : 文京シビックセンター地下1階 文京アカデミー学習室

##### \*委員会における主な議題

ア．福祉レクリエーション・ワーカー認定審査

イ．レクリエーション・コーディネーター認定審査

ウ．平成24年度新規課程認定校審査

エ．公認指導者養成カリキュラムの策定

これまでの経過と今後のすすめ方及び検討過程における課題

オ．レクリエーション・インストラクター認定審査

カ．福祉レクリエーション・ワーカー資格認定審査の実技審査方法について

キ．平成23年度学内審査の実施状況

ク．レクリエーション・コーディネーター(教育コース)のモデル事業実施について

ケ．福祉レクリエーション・ワーカー認定審査におけるビデオ審査の成果とレクリエーション・コーディネーター認定審査におけるビデオ審査導入について

< 資格認定委員会委員 >

工藤 智規（委員長） 蟻塚 昌克 川延 宗之 田中 祥子  
河津 英彦 福田 芳則 柿本 因子 浅野 祥三（敬称略）

公認指導者の審査及び認定 登録の実施

< レクリエーション インストラクターの審査 認定登録 >

区分	審査期日 会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会にて実施	1,044名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	8,672名
合計		9,716名

< 余暇開発士の審査 認定登録 >

区分	審査会期日 会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成 23 年 9 月 12 日、平成 24 年 3 月 7 日（書類による審査）	2 名	2 名	2 名
課程認定校（2 校）	各学校の学内審査により実施			11 名
合計				13 名

< レクリエーション・コーディネーターの審査 認定登録 >

区分	審査会期日 会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成 23 年 3 月 12 日（静岡）	9 名	9 名	7 名
	平成 24 年 3 月 10 日（福島） 3 月 18 日（福岡）	43 名	42 名	41 名
一般合計		52 名	51 名	48 名
課程認定校（10 校）	各学校の学内審査により実施	55 名	55 名	49 名
合計				97 名

平成 21 年度～平成 22 年度に、静岡県レクリエーション協会の担い手育成事業として、日本レクリエーション協会が開催した「レクリエーション・コーディネーター養成講座」を受講し審査に合格した方が平成 23 年度に登録手続きを行った。

< 福祉レクリエーション・ワーカーの審査 認定登録 >

区分	審査会期日 会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成 23 年 9 月 11 日（東京）	15 名	14 名	13 名
	平成 24 年 2 月 18 日（東京） 2 月 19 日（大阪）	22 名	18 名	18 名
	平成 24 年 2 月 25 日（宮崎）	11 名	11 名	11 名
一般合計		48 名	43 名	42 名

課程認定校 (33校)	各学校の学内審査により実施	533名	467名	463名
合計				505名

< 公認指導者資格の更新 (平成24年3月31日現在) >

(単位:人)

資格名	2011年6月更新		2011年12月更新		総数	
	予定者数	更新者数	予定者数	更新者数	予定者数	更新者数
レク・インストラクター	38,438	20,234	1,696	1,134	40,134	21,368
		52.6%		66.9%		53.2%
余暇開発士	642	435	52	41	694	476
		67.8%		78.8%		68.6%
レク・コーディネーター	1,233	1,025	176	149	1,409	1,174
		83.1%		84.7%		83.3%
福祉レク・ワーカー	3,415	2,286	170	145	3,585	2,431
		66.9%		85.3%		67.8%
のべ人数	43,728	23,980	2,094	1,469	45,822	25,449
		54.8%		70.2%		55.5%

< 公認指導者数 (平成24年3月31日現在) >

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	73,703名
余暇開発士	1,118名
レクリエーション・コーディネーター	2,777名
福祉レクリエーション・ワーカー	6,482名
合計	84,080名

人材養成 資格認定事業の改善に向けた研究

ア. 養成事業、認定・登録事業等全般にかかわるグラウンドデザインとして「レクリエーションの生涯学習体系(仮称)」を策定した。

イ. 生涯学習体系に含まれる個別の公認指導者資格の制度的検討、教育内容面の検討を進め、平成24年度での各種公認指導者資格の新たなカリキュラム、学習内容の施行に向けた行程を確定した。

ウ. 有識者の助言に基づき、調査研究に先立つ実績開発として、介護領域への就労支援事業及び社会教育主事研修でのレクリエーション講習の企画・実施及び評価を行った。

- ・ 介護領域への就労支援事業実施主体との連携・共同企画によるレクリエーション講座
  - ・ 川崎市及びNPO法人楽による就労支援事業への参画(レクリエーション講習部分の企画・実施): 8月 受講者30名 評価例92点(満足度)
  - ・ 横浜市及びNPO法人楽による就労支援事業への参画(レクリエーション講習部分の企画・実施): 9月及び10月 受講者30名 評価例93点(同上)
- ・ 社会教育主事研修の実施主体との連携・共同企画によるレクリエーション講座
  - ・ 東北大学の社会教育主事研修への参画(レクリエーション講習部分の企画・実施):

8月 受講者 100名 評価例 90点(満足度)

・国立教育政策研究所の社会教育主事研修への参画(レクリエーション講習及び生涯スポーツ部分の企画・実施: 8月 受講者 80名 評価例 90点(満足度))

エ. 企業領域での公認指導者資格及び生涯学習体系に基づくレクリエーション学習の普及・促進にむけた、学習内容の開発及び企業サイドの評価を把握するための社員研修事業を行った。

・住友金属鉱山社員研修: 7月 受講者 30名

・(株)タクティ: 1月~3月に全国6会場での選抜された社員 120名に対する研修

## (2) レクリエーション公認指導者への支援の拡充

### 1) 都道府県レクリエーション協会と連携した公認指導者への支援事業の充実

スキルアップ講習事業の教材や教授法等の開発・提供

ア. 有資格者フォローアップ事業(セミナー等)及び講師トレーニングセミナー等に関するプログラム作成支援及び講師派遣を行った

イ. レクリエーション・インストラクター養成カリキュラム改訂に伴う説明会支援

組織強化を通じた公認指導者への支援事業

ア. 都道府県レクリエーション協会のより一層の組織強化を通じて、各団体からの要請や組織の状況により個別に支援事業を行った。

イ. 各都道府県レクリエーション協会の運営に関する各種会議の開催、加盟団体会議、役員・理事等の会議における、各種アドバイス及び必要に応じた職員の派遣

ウ. 登録制度、人材養成制度改訂案に関する意見交換

### 2) 日本協会による直接的な公認指導者への支援の実施

月刊Recraw(レクルー)誌の発行 (財)日本宝くし協会助成事業)

前述(P. )に記載

専門資格取得者向け情報誌「Rec-site(レクサイト)」の発行 提供( )

レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカー専門資格を持つ公認指導者へ向けた情報誌をリニューアルし発行。3紙発行していたものを1誌にまとめ本誌24ページに増やし、専門性をより高めた内容を目ざし、企画・製作を行った。

<Rec-site(レクサイト)発行>

号別	発行	特集
Vol.1	平成23年8月1日	ホスピタリティ
VOL.2	平成24年2月1日	つなぐ(connect)

### (3) レクリエーション支援者の裾野の拡大

#### 1) 幅広いボランティア活動にレクリエーションを活かす学習者の育成事業の促進

##### ボランティア育成サポートセンターの支援

ア．子どもの居場所ボランティア育成・活性化サポートセンター

イ．介護予防・認知症予防ボランティア育成・活性化サポートセンター

都道府県レクリエーション協会が設置する子どもの居場所づくりボランティア及び介護予防ボランティア育成・活性化サポートセンターに対し、モデル事業の成果媒体の提供や、各地の取り組み情報等の提供を行った。なお、子どもゆめ基金の助成を受け、放課後子ども教室や児童センター等で活動するボランティア向けのスキルアップ事業を実施した。

事業名：子どもの居場所指導員・ボランティア向けコミュニケーションスキルアップ研修会  
実施地区：北海道、茨城県、和歌山県、高知県

レクリエーション・ボランティアの学習過程や活動実績をレクリエーション・インストラクター等の公認指導者資格取得の一部単位として認める制度の整備・普及

栃木県小山市において、小山市と協働でボランティア養成講座モデル事業を開催し、その成果を集約し、発信を行った。

##### シニア世代を対象とした子ども対象のレクリエーション・ボランティアの育成モデル事業

シニア層、ミドル層から、子どものたちの生きた体験活動を支える（そのことを自らの生きがい活動とする）指導者の養成をねらいとして、以下のように実施した。

- ・シニア、ミドル層が、自分自身が持っている、子どもたちに必要とされる他者とふれあい、創意工夫を楽しみ、成功体験・達成感で自信をつけられる体験を提供する力を、改めて発見して、安心して子どもたちのために発揮するための学習プログラム・教材・教授法の開発
- ・上記プログラム等を活用した講習事業を、宮城県及び佐賀県の2会場）で実施。
- ・特に宮城会場については、被災者でもあるシニア、ミドル層からの、同じ被災者である子どもたちを支えるレクリエーション・ボランティアの育成を目指した。
- ・各会場で30名のレクリエーション・ボランティアを養成（計90名）
- ・準備過程での交渉、事後の報告書提供を通じた県内企業、関連団体等との連携を実現

本事業は、余暇開発士の一般養成事業のモデル開発としても実施した。参加者の学習内容への満足度、実際の活動につなげたいという意欲が高まる、仲間づくりの効果も見られる等内容面には成果を得られたが、新たな受講者層の掘り起こしという面では必ずしも十分な成果をあげることができなかった。なお、本事業は、子ども夢基金の助成を受け実施した（子どもの生きた体験案内人養成講座）

## 2)各種現任者のためのレクリエーションの学習機会の提供

公認指導者一人ひとりの活動の質を高めるための知識や技術を提供する講習事業

下記のような講習事業を介護領域等公認指導者が活動する領域の専門家、団体・機関と連携して実施した。

ア．介護領域の関連団体、との連携・共同企画による介護レクリエーション研修の実施

- ・千葉県老人保健施設協議会：6月 受講者 60名
- ・練馬区社会福祉事業団：6月以降5回 受講者 150名
- ・新潟県介護福祉士会：7月 受講者 100名
- ・横浜市社会福祉協議会：9月 受講者 80名
- ・前橋市役所：10月 受講者 80名
- ・川崎市健康福祉局：11月 受講者 60名
- ・府中市地域包括支援センター：12月 受講者 50名
- ・さいたま市社会福祉協議会：2月2回 受講者 80名
- ・鹿児島県老人保健施設協議会：3月 受講者 120名

イ．他目的の研修機会を用いた機会提供

- ・福祉レクリエーション・ワーカー養成課程スクーリングをスキルアップの講座として公開した（同報告部分参照）

### 介護レクリエーションセミナー

福祉・介護領域の現任者を対象に、レクリエーション支援のスキルを提供するセミナーを開催した。本セミナーを受講することにより、福祉レク・ワーカー養成スクーリングの単位の一部となる制度も本年度から導入した。

開催都道府県・プログラム	会場名	日程	参加者数
東京 A	水道橋西口会館 6階会議室	5月28日	20
東京 A	水道橋西口会館 6階会議室	6月12日	16
東京 A	水道橋西口会館 6階会議室	6月19日	17
大阪 A	大阪社会体育専門学校	8月5日～7日	3
長崎 A	長崎短期大学	8月10日	30
長崎 B	長崎短期大学	8月30日	35
大阪 B	大阪社会体育専門学校	9月17日～19日	5
東京 A	国立オリンピック記念青少年総合センター	10月7日～9日	3
東京 B	国立オリンピック記念青少年総合センター	10月28日～30日	8
宮崎 A	宮崎科学技術館	11月11日～13日	3
宮崎 B	宮崎中央公民館	12月2日～4日	7
長崎 A	大村市コミュニティセンター	12月18日	10
岡山 A	旭川荘研修センター よしい川	平成24年1月21日	51
神奈川 A	ウイリング横浜	平成24年2月4日～6日	17
岡山 B	旭川荘研修センター よしい川	平成24年2月18日	40
神奈川 B	ウイリング横浜	平成24年3月23日～25日	9

### 幼児教育レクリエーション・セミナー

保育・幼児教育領域の現任者を対象に、レクリエーション支援のスキルを提供するセミナーを開催した。特に「遊び込み体験」をキーワードに、発達心理や幼児体育、幼児教育の専門家によるパネルディスカッションとそれぞれの実践プログラム、参加者同士の情報交換により構成された。

会場	日程	参加者数
東京成徳大学	平成 24 年 2 月 25 日	1 1
昭和女子大学	平成 24 年 3 月 11 日	3 2
成徳大学	平成 24 年 3 月 18 日	2 0

### 3. レクリエーション支援者が結集し、事業を行う組織の育成・支援

#### (1) レク運動の担い手が結集する市区町村レクリエーション協会等の育成・強化

##### 1) 新たな組織の立ち上げを支援する事業の実施

潜在的な指導者発掘と結集による事業展開のモデル開発 < スポーツ振興くじ助成事業 >

地域で活動をしていない公認指導者資格を結集(事業実施グループとして結成)し、まずは小さくても、活動のはじめの一歩としてのスポーツ教室、あるいはスポーツ情報の提供などのアクションを住民に対して起こすモデルづくりを全国12カ所で実施した。

なお、本事業は日本スポーツ振興センターの助成を受けて実施した。

##### ア. 実施地区

北海道 青森県2ヶ所 岩手県 秋田県 福島県 岐阜県  
静岡県2ヶ所 大阪府 兵庫県 鹿児島

##### イ. 実行委員会開催

指導者の結集と市民向けの事業の企画、事業以降の継続に向けた評価のための会議を各地区4回実施

##### ウ. 市民向け事業の実施

10月～3月にかけて、集まった指導者の趣味や得意なスポーツ種目等を活かしながら、地域住民を対象としたスポーツ・レクリエーション行事を実施。

##### 新規市町村レクリエーション協会の設立

平成23年度に全国の6地区で市区町村レクリエーション協会が新たに設立された。

##### 2) 既存組織の活性化を支援する事業の実施

##### あそびの城づくり推進事業(参加登録地区への支援)

平成16年度より文部科学省の「子どもの居場所づくり推進事業(事業委託/3カ年)」としてスタートした「あそびの城」づくり推進事業は、平成19年度から自主的なレクリエーション事業として全国で展開しており、平成23年度については、趣旨に賛同する都道府県・市区町村のレク協会やレク指導者のグループにより、全国58地区(実施地区一覧参照)にて事業を展開した。

また、子どもの体力向上につながる活動プログラムを実施するあそびの城については、日本スポーツ振興センターの助成を受け、活動支援を実施した。

##### \* 参加登録

- ・本事業に参加登録いただいた各地区の取り組みを全国展開事業として広くPRを行う。
- ・参加登録地区は、日本レクリエーション協会、都道府県レクリエーション協会の主催(共催、後援など)として実施。

##### \* 子どもの体力向上プログラムの提供 = toto助成 =

- ・参加登録地区のうち、49地区については、子ども体力向上プログラムを3～5回実施した

\* 情報の共有、発信

- ・「あそびの城」通信による情報発信及び収集
- ・活動報告、レポート等による情報収集（通信、ホームページ情報の収集）

平成 23 年度「あそびの城」づくり推進事業参加登録実施地区一覧

実施都道府県	実施市町村名	実施主体名称	回数	参加者
北海道	帯広市	若葉あそびの城 (アソ・ピバ) 運営委員会	40	25
北海道	砂川市	滝川レクリエーション協会	12	30
青森県	むつ市	むつ・下北地区レクリエーション協会	4	60
青森県	八戸市	(社)日本 3B 体操協会青森県支部青森南グループ	10	10
岩手県	大東町	大東町レクリエーション協会	15	15
岩手県	盛岡市	盛岡市レクリエーション協会	6	60
岩手県	遠野市	遠野市レクリエーション協会	20	30
秋田県	秋田市	秋田市レクリエーション協会	15	15
福島県	福島市	福島市レクリエーション協会	18	20
福島県	伊達市	伊達市レクリエーション協会	20	30
群馬県	前橋市	前レクあそびの城運営委員会	15	27
群馬県	高崎市群馬地区	群馬地区スポーツクラブ「あそびの城」	13	20
千葉県	四街道市	四街道市レクリエーション協会	26	70
千葉県	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市レクリエーション協会 あそびの城	6	100
千葉県	船橋市	NPO 法人船橋レクリエーション協会	6	20
千葉県	柏市	柏市レクリエーション協会	6	20
千葉県	茂原市	茂原市レクリエーション協会	12	30
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市レクリエーション協会	15	30
東京都	練馬区	泉新小あそびの城実行委員会	21	60
東京都	八王子市	特定非営利活動法人八王子市レクリエーション協会	22	40
新潟県	村上市	村上市レクリエーション協会	15	13
新潟県	長岡市	希望が丘コミュニティ推進協議会	290	45
新潟県	新潟市秋葉区	新津レクリエーション協会	24	25
石川県	金沢市	(財)石川県レクリエーション協会あそびの城実行委員会	20	20
石川県	金沢市	(財)石川県レクリエーション協会あそびの城実行委員会	20	60
福井県	福井市	福井県レクリエーション協会あそびの城実行委員会	40	15
山梨県	中央市	中央市レクリエーション協会	20	25
長野県	松本市	田川地区あそびの城運営委員会	45	15
岐阜県	各務原市	川島スポーツレクリエーション協会	30	50
岐阜県	大垣市	NPO 法人大垣市レクリエーション協会	28	50
静岡県	富士宮市	富士宮地区あそびの城	10	20
静岡県	静岡市清水区	静岡市あそびの城	14	15
京都府	京都市右京区	さかの あそびの城 運営委員会	38	40
京都府	網野町	網野あそびの城	27	30
兵庫県	高砂市	高砂市レクリエーション協会	11	65
兵庫県	洲本市	レクリエーション企画「あわじ」	12	20

奈良県	北葛城郡	NPO 法人奈良県レクリエーション協会	24	80
奈良県	奈良市	奈良市グリーンホールあそびの城	15	25
鳥取県	米子市	西部レクリエーション協会	40	20
島根県	松江市	まつえレクリエーション協会	15	15
岡山県	和気町	佐伯レクリエーションクラブ和話環 KIDS 実行委員会	180	7
山口県	宇部市	宇部市レクリエーション協会あそびの城うべ実行委員会	13	35
徳島県	板野郡松茂町	NPO 法人徳島県レクリエーション協会	6	50
徳島県	海部郡美波町	ゆきあそびの城	10	30
徳島県	藍住町	藍住レクリエーションクラブ	20	40
香川県	高松市	高松市レクリエーション協会	36	20
香川県	善通寺市	中讃あそびの会	25	25
高知県	香南市	のいちあそびの城	24	30
福岡県	大野城市	大野城市「あそびの城」	14	27
福岡県	春日市	春日あそびの城	50	30
佐賀県	唐津市	からつ市レクリエーション協会	10	15
佐賀県	鳥栖市曾根崎町	鳥栖市レクリエーション協会	5	20
佐賀県	佐賀市	佐賀県レクリエーション協会	5	30
佐賀県	佐賀市	佐賀市レクリエーション協会	5	20
佐賀県	神崎市	神崎市レクリエーション協会	8	50
佐賀県	武雄市	武雄市レクリエーション協会	11	20
佐賀県	多久市北多久町	レクリエーションサークル丹邱	12	20
佐賀県	上峰町	かみみね町レクリエーション協会 (NPO 法人愛えん)	5	20

## (2) 組織育成・強化のための基盤整備

### 1 組織強化のための関連会議の開催

#### 加盟団体運営代表者会議

日本レクリエーション協会に加盟する都道府県レクリエーション協会、種目団体、領域団体が一堂に会し、レクリエーション運動の方向性や課題について検討するとともに、1年間の取り組みを相互に評価する場として、平成23年度加盟団体運営代表者会議を2日間にわたり東京において開催した。

1日目は、都道府県レクリエーション協会、種目団体、領域団体の3つの分科会に分かれ、それぞれが抱える課題についての議論、情報交換を行った。2日目は、都道府県レクリエーション協会との議論、情報交換、本協会から加盟団体へのお願い事項及び各種情報提供を行った。

? 期 日 平成23年12月6日(火)～7日(水) 1泊2日

? 開催会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

? 参加者 日本レクリエーション協会加盟団体運営代表者

## 有資格者支援施策検討会議の開催

都道府県レク協会に共通する課題である有資格者の活動の活性化支援及び、新たなレクリエーションの担い手の育成について、各都道府県レクリエーション協会より1名の参加を得て、以下の通り会議を開催した。

？日時 平成23年9月13日(火)～9月14日(水)

？場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

## ブロックごとの連携・協力

都道府県レクリエーション協会との連携・協調を深めるとともに、全国6ブロックの協力的体制の充実及び組織強化・連携調整のための支援を行うため、各ブロックから選出された幹事県と連携し、各種課題について討議するとともに、ブロック間の交流や情報交換の場となる会議を年2回開催、同会議へ職員を派遣した。

### <平成23年6月のブロック会議開催>

ブロック名	日程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月25日(土)～26日(日)	秋田	秋田
関東・甲信越	6月17日(金)	東京	東京
東海・北陸	6月19日(日)～20日(月)	富山	富山
近畿	6月24日(金)～25日(土)	大阪	奈良
中国・四国	6月18日(土)～19日(日)	岡山	岡山
九州・沖縄	6月18日(土)～19日(日)	長崎	長崎

### <平成24年2～3月ブロック会議開催>

ブロック名	日程	開催地	幹事県
北海道・東北	2月18日(土)～19日(日)	秋田	秋田
関東・甲信越	2月23日(木)～24日(金)	東京	東京
東海・北陸	2月19日(日)～20日(月)	富山	富山
近畿	2月24日(金)～25日(土)	大阪	奈良
中国・四国	3月2日(金)～3日(土)	岡山	岡山
九州・沖縄	2月18日(土)～19日(日)	福岡	長崎

## 2)都道府県協会等の組織運営基盤の拡充 支援

### 加盟団体向けガバナンス強化事業 <スポーツ振興くじ助成事業>

加盟種目団体の組織強化を促す事業として、以下の2事業をtoto助成により実施した。

#### 現状把握のための調査

平成23年9月～10月にかけて加盟種目団体に対する基礎データの整備を行う。

それらの結果を3月に加盟種目団体基礎調査としてまとめて、各加盟種目団体にも配布した。

### 研修会の開催

#### <中央研修会>

ア．東日本研修会

\*平成 23 年 12 月 6 日（火）16：00～19:00　オリンピック記念青少年総合センター

\*加盟種目団体役員：33 名

講演「助成金を得て、活用するために大切なことは」、パネルディスカッション「助成金を組織基盤強化に活かすには」を実施

イ．東日本研修会

\*平成 23 年 8 月 20 日（土）　滋賀県草津市まちづくりセンター会議室

\*加盟種目団体関係者：15 名

講演「組織の基盤である仲間はどうしたら増やせるのか？」

都道府県レクリエーション協会の創立記念事業、法人化事業等の式典への役職員の出席

都道府県レク協会の通信費等のコスト削減につなげる支援策として、都道府県レク協会が発行する会報等を月刊レクルー同封で発送するサービスを実施

市区町村レクリエーション協会等地域における公認指導者の組織化の促進

ア．有資格者の活動を基盤とした市区町村レクリエーション協会の育成、活性化を目的に、各団体からの要請や組織の状況により個別支援を行った。

イ．訪問活動として、市区町村レクリエーション協会の創立記念事業（式典）へ役職員の派遣を行った

ウ．あそびの城の運営及び研修会の開催（モデル開発を含む）に関する支援等

## 4. 笑顔を実現しやすい社会の仕組みづくりの展開

### (1) 国等との連携・協力を通して、国民の生きがいづくりへの貢献

#### 1) 文部科学省委託事業及び関連事業

##### 「おやこ元気アップ! 事業」

##### < 文部科学省委託事業 >

子どもの体力向上を推進するために、子どもへの直接的な取組に加え、保護者に対して、子どもの体力向上や生活習慣の重要性について理解を促す本事業について、文部科学省より委託を受けて実施した。各都道府県での実施は、都道府県レクリエーション協会に再委託をして実施した。

##### ア. 実行委員会等の開催

「おやこ元気アップ! 事業」の実施に向けた基本的事項に関する企画・立案及び募集や実施方法等を定める委員会を開催した。また、実行委員会で協議すべき事案等について、一部の実行委員と事務局等にて作業部会を設けて協議を行った。

##### \* 実行委員会委員 ( 印は委員長 )

品川区立小中一貫校伊藤学園 統括校長 青木哲男  
(公財)日本レクリエーション協会 常務理事兼事務局長 浅野祥三  
(社)全国幼児教育研究協会 副理事長 岡上直子  
慶応義塾大学体育研究所 教授 佐々木玲子  
山梨大学 教育人間科学部 教授 中村和彦  
立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 松尾哲矢

##### イ. 元気アップコーディネーター講習会の開催

平成23年4月23日、24日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「おやこ元気アップ! 事業」を推進していく新規コーディネーター、および事務を担当する都道府県レクリエーション協会の事務担当者を対象とした講習会を開催した。

##### ウ. 「おやこ元気アップ! 事業」参加者用教材「おやこでtouch!」の配布

一昨年まで実施していた「元気アップ親子セミナー」用教材冊子「touch」の内容を基に、新たな内容も加えた教材「おやこでtouch!」を配布した。

##### エ. 「おやこ元気アップ! 事業」の実施

都道府県レクリエーション協会に開催委託して全国127会場で実施した。

##### オ. 「おやこ元気アップ! 事業」事業報告会議

各団体が「おやこ元気アップ! 事業」を開催した成果と課題を報告し、子どもの体力向上に資する取組のあり方について協議した。

【開催日】: 平成23年3月10日～11日

【会場】: 国立オリンピック記念青少年総合センター

【参加者】: 都道府県の元気アップコーディネーター2名

##### カ. その他の業務

##### \* 広報記事制作と掲載

スポーツ・レクリエーション関係者をはじめ、当該事業を広くアピールするための広報記事

を作成、スポーツ・レクリエーション関係団体への掲載を図った。

\* 調査の実施

事業の参加者及び主催者等の調査を実施し、事業の評価を行い、平成24年度事業企画等に活用した。

\* 「おやこ元気アップ! 事業」平成23年度報告書の制作と配布

\* 「おやこ元気アップ! 事業」ホームページの管理運営

### 平成23年度子どもの体力向上啓発「ポスター」標語」の募集と文部科学大臣賞受賞作品等決定

子どもの体力向上や望ましい生活習慣の形成に向け、子どもの体力向上啓発「ポスター」及び「標語」を全国の小学生から募集。審査委員会による審査の結果、下記のように文部科学大臣賞受賞作品等を決定し、「体育の日」中央記念行事イベントにて表彰式を行った。

【応募期間】: 平成23年6月1日～6月30日(必着)

【応募総数】: 5,605作品(「ポスター」753作品、「標語」5,852作品)

#### < 「ポスター」の部 受賞者 >

\* 文部科学大臣賞 \* キャンペーン「ポスター」として採用

受賞者 岩手県・村上玲奈さん(陸前高田市立横田小学校・小5)

\* 公益財団法人日本レクリエーション協会理事長賞

受賞者 岩手県・荒木 輝くん(陸前高田市立横田小学校・小4)

その他、公益財団法人日本体育協会会長賞、公益財団法人日本オリンピック委員会会長賞、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長賞、体力づくり国民会議議長賞を4名が授賞、入選が4名。

#### < 「標語」の部 受賞者 >

\* 文部科学大臣賞 \* キャンペーン「標語」として採用

作品 「楽しいな 走って笑って 汗かいて」

受賞者 千葉県・末廣彩花さん(市川市立平田小学校・小6)

\* 公益財団法人日本レクリエーション協会理事長賞

作品 「太陽が かがやく日には 外遊び」

受賞者 埼玉県・良元 廉くん(朝霞市立朝霞第六小学校・小6)

その他、公益財団法人日本体育協会会長賞、公益財団法人日本オリンピック委員会会長賞、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長賞、体力づくり国民会議議長賞を4名が授賞、入選が4名。

### 平成23年度「体育の日」中央記念行事 スポーツ祭り2011の実施

【開催期日】: 平成23年10月10日(月・祝) 8時30分～15時30分

【会場】: 味の素ナショナルトレーニングセンター、国立スポーツ科学センター( J I S S )、西が丘サッカー場、赤羽スポーツの森公園競技場 ほか

【主催】: 文部科学省、(公財)日本体育協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本レクリエーション協会、(独)日本スポーツ振興センター、NPO法人日

本オリンピックズ協会、読売新聞社

【後 援】：NHK、(財)JKA、東京都、北区、北区教育委員会、板橋区、板橋区教育委員会

【参加者数】：のべ13,090名

【実施内容】：開会式、オリンピックふれあい大運動会、オリンピックふれあいジョギング、各種スポーツ体験&教室、新体力テスト、レッツ・チャレンジ！・おもしろスポーツ&ボート体験コーナー、ロープジャンプ(大なわとび)体験、東日本震災復興ストリート ほか

### 生涯スポーツ 体力づくり全国会議 2012

文部科学省、関連団体と共に生涯スポーツ環境の整備を目指し、スポーツ振興に携わる各界各層の方々が一堂に会して、豊かなスポーツライフの実現について検討し、その方向性を探った。

【主 催】：文部科学省、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会、  
《(公財)日本レクリエーション協会、(公財)日本体育協会、  
(財)日本体育施設協会、(財)スポーツ安全協会、(社)全国体育指導委員連  
合、(社)スポーツ健康産業団体連合会、(公財)日本障害者スポーツ協会、  
(財)健康・体力づくり事業財団、秋田県》

【後 援】：体力づくり国民会議

【期 日】：平成24年2月10日(金)10:00~19:00

【開催地】：秋田県秋田市

【参加者】：地方公共団体関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、各主催業界関係者、学識経験者、その他関係者 699名

【内 容】：表彰式

全体会

シンポジウム『スポーツを通じた連携・協働が生み出す可能性』

コーディネーター：山口泰雄氏

パネリスト：朝原宣治氏、荒木田裕子氏、武山兵記氏

分科会(第1分科会~第5分科会)

展示

情報交換会

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進のための調査研究 <文部科学省委託事業>  
本調査研究は、20・30代と60代を対象に全国1600人への訪問留置法による全国調査によりスポーツの実施状況やスポーツへの意識、阻害要因、促進要因を明らかにするとともに、グループ・インタビューなどの定性調査、先行事例研究などを加えて、60代に対しては具体的な支援策を、20・30代に対しては課題と支援の方向をとりまとめた。

報告書は、全国の都道府県レクリエーション協会、スポーツ系学科のある課程認定校、加盟種目団体のほか、都道府県、市区町村のスポーツ振興担当部署、総合型地域スポーツクラブなど約4700箇所に配布した。

また、本協会公式ホームページにて、報告書を公開しているほか、全国調査の結果を20・30代、60代それぞれの詳細をまとめた報告も公開している。

本報告書をベースとして、今後、具体的な施策が展開されることと予想できる。

## 2)既存人材を活かした介護予防活性化リーダー養成 活用事業<厚生労働省補助事業>

全国社会福祉協議会、全国老人クラブ連合会、全国農業協同組合中央会と連携協力し、講習カリキュラム、教材等を作成し、全国 30 都道府県 3 2 実施地域で、都道府県レクリエーション協会等地域レクリエーション組織が中心となり以下の事業を実施。

ア．既に健康づくり・介護予防に取り組むボランティア等の人材を対象としたレクリエーションの講習の実施

イ．上記アの受講者が、学習成果を活かして、市民に対して健康づくり・介護予防の啓発イベント（体験コーナー等）を実施

また、訪問調査、アンケート調査（受講者の講習・イベントの当日及び1ヶ月後、イベント参加市民の当日）を行い、地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進に関するレクリエーションの効果についても明らかにした。

- ・受講者のレクリエーション学習への満足度：90点（32会場約2400名の平均）
- ・講習と実習にもなる啓発イベントの実施を組み合わせた学習方法の成果として、6割を超える受講者が1ヶ月後の段階で、自身の活動に学習成果を活かしていると回答
- ・1ヶ月後の調査で、新しい活動を始めた、あるいは始めようとしている受講者が9割を超えた。
- ・イベント参加市民の9割が、体験したニュースポーツ等レクリエーション活動を継続したいと回答
- ・イベント参加市民の6割が、プログラムを実施した講習受講者のようなボランティアを行いたいと回答

上記の成果を専用ホームページに掲載。各地域で活用できる教材（講習テキスト）も電子書籍として掲載し、自由にダウンロードできるようにした。こうした成果の活用を促進するために、成果を紹介するチラシを全国市区町村の関連部局等に配布した。

### <実施地域>

北海道、青森県、山形県、岩手県、宮城県、群馬県、千葉県、富山県、石川県、新潟県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、愛媛県、長崎県、福岡県、佐賀県、沖縄県

## 3)生涯スポーツ振興施策への事業を通じた貢献 <スポーツ振興く助成事業>

### 総合型地域スポーツクラブ創設支援事業および自立支援事業

本事業は、（公財）日本レク協会がレクリエーション運動の基本方針として掲げている「レクリエーション有資格者や加盟団体とともに、公益性をより一層高めるレクリエーション活動の展開」を目指し、拠点型事業の実施機会として位置づけて行った。

? 創設支援地区：静岡県川根本町、千葉県柏市の2地区

? 自立支援地区：神奈川県川崎市、愛知県碧南市の2地区

### 運動が苦手な人を楽しみ運動に引き込む指導者育成事業

スポーツ・レクリエーションの実施率を高めるためには、運動が苦手な人も運動・スポーツ・レクリエーションに親んでもらうことが不可欠。そこで、そうした人たちを楽しく引き込む指導者養成事業と体験会を静岡県レクリエーション協会とともに行った。

#### <島田市会場>

- ・講習会：平成23年11月3日（木）・島田市総合スポーツセンター

運動が苦手な人への指導法の必要性、考え方、ポイント学習。実技はラダーゲッタ

一、ディスコン、スポーツチャンバラの3種目を学ぶ。総合型クラブマネージャー、スポーツ推進委員、レクリエーション公認指導者など34名が参加。

・体験会：平成23年11月5日(土)・島田市総合スポーツセンター

同3種目を一般市民も含め69名の参加を得て受講者が指導して実施。クップの展示・体験も行った。

<静岡市会場>

・講習会：平成23年11月5日(土)・静岡県総合研修所もくせい会館体育館

島田市と同様の講義の他、実技はシャフルボード、ミニトランポウオーク、スポーツチャンバラの3種目を学ぶ。レクリエーション公認指導者を中心に24名が参加。

・体験会：平成23年11月6日(日)・静岡県総合研修所もくせい会館体育館

同3種目を受講者が指導して実施。親子連れなど54名の参加。また、ラダーゲッターを展示・体験してもらった。

開催市教育委員会の視察もあり、事業の必要性を高く評価してくれた。市レクリエーション協会の発足も予定しており、同協会への期待も高まった。また、総合型クラブマネージャーやスタッフも参加し、総合型クラブでの身近なスポーツ提供が高まることに寄与できた。

生涯スポーツ普及・振興に向けたスポーツ情報提供事業

ア．生涯スポーツパンフレット 『みんなの元気をつくるスポーツ・レクリエーション』

生涯にわたるスポーツの普及・推進にかかる重要な施策や具体的な種目である本協会加盟42種目をわかりやすく紹介したパンフレットを作成し、全国の関係各所に配布した。

【作成部数】：10,000部

イ．生涯スポーツポスター 『おすすめスポーツ42種目』

誰もが気軽に楽しめるスポーツ種目として、当協会に加盟する42種目の概要を写真とともに紹介するポスターを作成し、全国の関係各所に配布した。

【作成部数】：300部

その他の事業 <スポーツ振興(助成事業)>

(前掲参照)

ア．子どもの居場所を活用した子ども体力向上プログラムの展開事業

イ．潜在的な指導者の発掘と結集による事業展開を核とした活動母体の育成事業

ウ．子どもと高齢者の運動習慣づくりの行事、イベント企画・運営養成研修会

エ．高等教育機関と連携した高齢者・障害者のスポーツ・レクリエーション活動支援者育成事業

オ．幼児・子育て世代のスポーツ・レクリエーション活動支援者の要請・講習事業(調査研究)

カ．加盟団体ガバナンス強化事業

#### 4)子どもの健やかな育ちと豊かな未来の創造への貢献

あそび活用研究フォーラム～子どもが変わる、子どもを変える～<子どもゆめ基金助成>

子どもたちにあそびを意図的、計画的、継続的に活用しながら提供することにより得られる効果や意義を広く発信するためのシンポジウムを2会場で開催した。

なお、東日本会場については、「大震災を経た今、子どものあそびを再校する」をサブテーマとして開催した。

ア．西日本会場

- ? 期 日 平成23年9月24日(土)
- ? 開催会場 滋賀県龍谷大学瀬田キャンパス
- ? 参加者 115名

イ．東日本会場

- ? 期 日 平成23年10月16日(日)
- ? 開催会場 宮城県フォレスト仙台
- ? 参加者 146名

子どもの居場所指導員・ボランティア向けコミュニケーションスキルアップ研修会  
2 - ( 3 ) - 1 ) - 参照

子どもの生きた体験案内人養成講座  
2 - ( 3 ) - 1 ) - 参照

## ( 2 ) 幅広い社会の課題に対するレクリエーションの活用促進

### 第3回 ロープジャンプ小学生No.1決定戦

全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム種目「ロープ・ジャンプ・エクストラ」による小学生大会「第3回パナソニック・キッズスクールCUP ロープジャンプ小学生No.1決定戦」を株式会社フジテレビと共催、パナソニック株式会社の特別協賛、各開催都道府県レクリエーション協会の協力を得て、開催した。

ア．地区予選大会(全国9地区)

(イ) 関東・甲信越地区予選大会

\* 2012年1月7日(土)・東京工科大学八王子キャンパス体育館(東京都)

(ロ) 東海・北陸地区予選大会

\* 2012年1月9日(月・祝)・愛知県武道館(愛知県)

(ハ) 北海道地区予選大会

\* 2012年1月14日(土)・北海道立総合体育センター 北海きたえーる(北海道)

(ニ) 九州地区予選大会

\* 2012年1月21日(土)・城南体育館(福岡県)

(ホ) 中国地区予選大会

\* 2012年1月22日(日)・廿日市市スポーツセンター サンチェリー(広島県)

(ヘ) 沖縄地区予選大会

\* 2012年1月28日(土)・那覇市民体育館(沖縄県)

(ト) 四国地区予選大会

\* 2012年2月4日(土)・伊予市民体育館(愛媛県)

(チ) 近畿地区予選大会

\* 2012年2月5日(日)・パナソニックアリーナ(大阪府)

(リ) 東北地区予選大会

\* 2012年2月19日(日)・多賀城市総合体育館(宮城県)

## イ．海外予選

中国、インド、ベトナム、イギリス、ブラジル、ドイツにて海外予選を実施した。

## ウ．「第3回ロープジャンプ小学生No.1決定戦」決勝大会

\*2012年3月18日(日)・中央大学 多摩キャンパス 第1体育館(東京都)

選抜地区	学校名	チーム名	予選ポイント
北海道	札幌市立清田緑小学校(北海道)	Dream 絆一's 32	7,058pt
東北地区	村田町立村田小学校(宮城県)	S.T.BONDS	4,990pt
関東・甲信越	川口市立舟戸小学校(埼玉県)	舟戸学園なわとびクラブ 絆	6,689pt
	相模原市立旭小学校(神奈川県)	旭ジャンピング	6,020pt
東海・北陸	阿久比町立英比小学校(愛知県)	英比ドリームフライツ	6,857pt
	知多市立旭北小学校(愛知県)	ザ・旭北スピリッツブルー	5,788pt
近畿	交野市立交野小学校(大阪府)	風魔神	6,994pt
	交野市立倉治小学校(大阪府)	龍王山 風	6,783pt
中国	岡山市立旭操小学校(岡山県)	勝井定食	5,370pt
四国	西予市立宇和町小学校(愛媛県)	宇和町6松 跳戦者	5,730pt
九州	須恵町立須恵第一小学校(福岡県)	須恵進気	6,020pt
沖縄	中城村立中城小学校(沖縄県)	琉球ジャンパー28	4,440pt
海外ベトナム	キューンマイ小学校 QUYNH MAI PRIMARY SCHOOL	ビミン Binh Minh	4,560pt
海外中国	じんめん小学校 金盟小学校	クワイラシャオドゥイ 快樂小隊	3,730pt
海外インド	インドラプラスタ インターナショナルスクール Indra Prastha International School	チーム・インドラプラスター Team Indraprastha	2,685pt
海外ブラジル	コレージオ・ブラジリア・デ・サンパウロ Colegio Brasilia de Sao Paulo	カナリーニョ ブラジル Canarinho Brasil	1,790pt

## (3) 東日本大震災復興支援事業

### 1 東日本大震災支援事業(笑顔 Again)プロジェクト

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県のレクリエーション協会を中心として、被災者へのレクリエーションによる支援活動を実施した。

支援活動の実施にあたっては、各地の災害ボランティアセンターを統括する全国社会福祉協議会への相談、現地調査による被災地のニーズ把握、当該県レク協会との検討を重ね、支援活動の財源を確保するための活動支援募金やチャリティ Tシャツの販売、スポーツ振興くじへの活動助成申請等も行った。その結果、震災直後から平成 23 年度にかけて、被災 3 県を中心に 679 回(岩手県 98 回、宮城県 490 回、福島県 91 回)の活動を実施し、約 14,628 人の被災者を支援することができた。また、これらの活動に 2,610 人の公認指導者がボランティアスタッフとして関わった。(注:被災県・市区町村レクリエーション協会に関わる活動をまとめたもので、公認指導者が個人で行った活動や課程認定校、加盟種目団体の活動等は加えていない。支援した被災者数は、避難所等で把握が難しかった場合の数は加えていない。)

こうした活動の中では、子どもたちを被災地から連れ出し、自然豊かな場所で遊ばせるキャンプやデイ・キャンプ等の活動も実施された。日本レク協会も、放射線の問題で外遊びが制限された福島県の子どもたちを対象としたネイチャー&レクリエーション楽宿を実施した。これらの活動にともない、ボランティアの研修・養成を行ったほか、被災地で身元確認をしやすいようにスタッフのユニホームを配布した。また、支援活動を広報するために、月刊レククルーに毎月報告のベースも設け、震災支援のためのホームページも設置した。

なお、上記の活動を支援するために実施した「被災地におけるレクリエーション活動支援募金」は、Tシャツの売り上げからの支援金をあわせ、総額で10,119,020円となった。

## 2) レクリエーション活動を通じた被災地の子ども・高齢者支援活動

### <スポーツ振興くじ助成事業>

#### 被災地での支援活動

岩手県、宮城県、福島県を中心に、避難所・仮設住宅の集会所などでレクリエーション活動を実施した。避難所や仮設住宅集会所でのレクリエーションによる支援活動は、合計355回（福島県73回、宮城県242回、岩手県40回）。こうした活動にともない、スタッフ研修やボランティア育成の試みも行われた。レクリエーション活動でみんなで体を動かし、楽しく笑うことで、気分転換や気持ちを前向きにさせ、人のつながりをつくるなど、その効果が理解されており、各地での支援活動の継続されている。また、そうした支援活動が、災害支援に取り組む関係者の目に触れる機会も多く、今回支援活動を行った以外の地域においても同様のボランティア活動を行うケースが出てきている。

#### ネイチャー&レクリエーション楽宿

放射線や仮設住宅での生活により外遊びが制限されている福島県内の子どもたちを対象としたキャンプを実施。プログラムはニュースポーツ、ハイキング、水鉄砲づくり、スイカ割り、野外炊飯、キャンプファイヤーなど。虫さされ等の軽微なものを除き、大きな事故やけがはなく、無事終了した。

\*第1期：8月1日（月）～8月3日（水） 90名（男の子45名、女の子45名）

\*第2期：8月4日（木）～8月6日（土） 95名（男の子48名、女の子47名）

\*第3期：8月7日（日）～8月9日（火） 82名（男の子39名、女の子43名）

<参加対象地域>：福島市、伊達市、相馬市、南相馬市、新地町、いわき市など

<場所>：国立磐梯青少年交流の家

<共催>：NPO福島県レクリエーション協会

<後援>：福島県、福島県教育委員会

<協力>：課程認定校研究連絡会議

<スタッフ>：日本レクリエーション協会職員の他に、福島県（会津若松市）レクリエーション協会（8名）、一般ボランティア・講師（4名）、学生ボランティア（50名）が担当。

## ユニホームの配布と活動情報の公開

レクリエーションによる支援を行う際、スタッフの身元を明確にするためのユニフォームを作成し配布した。ホームページ、機関誌を通して、活動状況を公表し、随時更新を行った。スタッフユニフォームを配布したことにより、災害支援に関わる関係者や避難所、仮設住宅等で暮らす被災者から、認知しやすく、コミュニケーションもとりやすい等の評価を受けた。

震災支援活動に関するホームページを設置し、毎月のレポートと30以上の各地の最新情報を掲載し、活動の様子を広く周知することができた。また、これらの情報を災害支援に取り組む被災地域の社会福祉協議会等に送付した。

ホームページ等での広報により、被災県以外からのボランティア活動に参加する者もあり、本事業を広く周知すると同時に、ボランティア活動自体を促進することができた。また、こうした活動の状況が、日本体育学会や日本レジャー・レクリエーション学会等の中でも取り上げられた。

## パンフレット、テキストの作成

震災時に活用できるレクリエーションスキルを取りまとめたテキストを作成。高齢者向け、子ども向けの2種を作成しレクリエーション・ボランティアセミナーで活用した。

また、レクリエーションを活用した震災支援のパンフレットを作成。被災地3県の社会福祉協議会、行政、都道府県協会、公認指導者へ配布した。

## レクリエーション・ボランティアの研修 養成

岩手県、宮城県、福島県のレクリエーション協会では、レクリエーション・ボランティアの研修、養成を行った。遠野市では心のケアをテーマとした研修が、福島県では高校生を対象としたボランティア養成が行われるなど、特徴のある研修も行われた。日本レク協会も岩手県で行われた「災害を体験した乳幼児の心のケアと保護者の支援」と題する研修会（NPO 岩手子育てネット主催）の後援をし、レク・ボランティアの研修機会を支援した。

また、下記の研修について、当該県レクリエーション協会と共催し、ボランティアの養成を行った。

### \* 宮城県：災害支援レクリエーション・ボランティア養成研修会

- ・平成23年6月11日、18日、25日
- ・場所：仙台市ホテル白萩、利府町社会福祉協議会施設、等
- ・参加者：16名

### \* 岩手県：レクリエーション・ボランティアセミナー

- <宮古市会場：平成24年2月26日>
- ・場所：男女共生推進センターフラットピアみやこ ・参加者：13名
- <盛岡会場：平成24年3月18日>
- ・場所：岩手県青少年会館 ・参加者：75名

## シンポジウム等での活動報告

東日本大震災の支援活動について、下記の会議、報告会等にて、レクリエーション・ボランティアの活動状況を報告した。

\* 第65回全国レクリエーション大会 INしが「ガンバロウ東日本! 『笑顔! Again!!』」  
私たちレクリエーション関係者にできること~レクリエーション・ボランティアの実践報告

・日時:平成23年9月25日 場所:龍谷大学瀬田キャンパス

\* 東北福祉大学「くにも街道復興祭」災害支援ボランティア活動報告会

(東北福祉大学と共催)

・日時:平成23年10月23日 場所:東北福祉大学ステーションキャンパス

### 3)第65回全国レクリエーション大会 inしが の開催

「東日本大震災復興支援事業」の一環として位置づけて開催。 1-(1)-1)を参照

### 4)その他の被災地支援関連事業

日本レジャー・レクリエーション学会第41回学会大会シンポジウム

「人と暮らしをつなぐものを探る - 備え・居場所・地域 - 」

・日時:平成23年11月19日 場所:大分大学旦野原キャンパス

災害時におけるレクリエーションボランティアのあり方

(主催:全国福祉レクリエーション・ネットワーク)

日時:平成23年12月3日 場所:コラッセふくしま

宮城県レクリエーション協会創立60周年記念 3.11 東日本大震災復興祈念公開フォーラム」

日時:平成24年1月22日 場所:ホテル白萩

生涯スポーツ 体力づくり全国会議2012第4分科会

「被災地域の復興にむけた笑顔を育む取り組み~健康促進や体力づくりに役立つレクリエーション活動の紹介

日時:平成24年2月10日 場所:秋田ビューホテル

## 5 . 財政基盤、事務局機能の強化

### ( 1 ) レクリエーション活動のための用具・書籍等の販売

本事業は、広く国民が様々なレクリエーション活動に親しみ、心身の健康と生きがいづくり、コミュニケーションの促進につながる一助として、レクリエーションに係る用具・書籍等の販売を行なう事業である。

また、レクリエーションの普及・啓発を拡充させるとともに、本協会や都道府県協会にとっても、実施する公益事業の継続及び拡充のための基盤整備に不可欠な事業である。

今年度は、特に以下のような事業を展開し販路の拡大を行なうと共に販売収益のより一層の増額を目指した。

- \* 介護予防、子育て支援、スポーツライフをサポートする新たな用具・書籍の開発と発掘に努め、新商品数を約30種ほど増やした。
- \* 全国の社会福祉協議会や老人クラブ連合会等への発信件数を5,000件ほど増やし情報発信の拡充を図った。
- \* 幅広く多くの方々への情報発信策としての電子情報(E-BOOK)に、商品をより分かりやすく知っていただくために、商品に合わせての動画を配信した。
- \* 都道府県協会との協力体制を密にし、用具・書籍等を各種講習会・イベント等で紹介・販売コーナーの設置を強化。その結果、都道府県協会を通しての売上が前年度に比べ約2.4倍アップした。
- \* 前半期においては、東日本大震災の復興支援につなげるチャリティーTシャツ等の販売を進め、約12,400枚以上。売り上げの半額を被災地活動支援金として活用。
- \* 新商品としての「ラダーゲッター」「マンカラ」といった商品が、全国の各種事業に取り上げられ売上を伸ばした。

以上の施策の実行により、新商品等の売上アップにより、総売上約2億1,880万円とし、年度売上予算より約2,580万円増という結果となった。

今後も一層、社会のニーズに答えるレクリエーション運動・事業と密着した用具・書籍等の販路の拡大を進め、元気な社会・地域づくりに貢献し得るものとする。

### ( 2 ) 国際機関との連絡協調

第65回全国レクリエーション大会INしがに、中国国家体育総局・社会体育センター所長のシャン シャオチュエン氏はじめ3名が参加し、大会の視察及び文部科学省奥村副大臣、日本レクリエーション協会小西理事長との情報交換並びにレクリエーション協会関係者との交流をはかった。

### ( 3 ) 顕彰制度及びその他事務局運営に関わる事業

#### 1) 顕彰 褒章制度の整備

### 生涯スポーツ功労者表彰(文部科学大臣表彰)

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を、日本レクリエーション協会が推薦し下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、平成23年10月7日(金)中央合同庁舎第7号館3階講堂(東京都千代田区)にて文部科学大臣より表彰された。

菊地 彰 氏	栃木県レクリエーション協会	常任理事
古村 吉照 氏	石川県レクリエーション協会	副理事長
山羽 小百合氏	兵庫県レクリエーション協会	理事
今井 健志 氏	松山市レクリエーション協会	会長
佐藤 恒明 氏	宮城県タッチ協会	会長
井上 博夫 氏	山形県レクリエーション協会	常任理事
和久田 一夫氏	静岡県レクリエーション協会	常任理事
池邊 美保子氏	大阪府レクリエーション協会	公認指導者
川田 礼子 氏	香川県レクリエーション協会	常任理事
釜 令子 氏	大船渡ターゲット・バードゴルフクラブ	会長

### 文部科学大臣社会教育功労者表彰

平成23年度は、本授賞の該当者はなかった。

### 内閣府 エイジレス章

内閣府では、65歳以上で自由にいきいきとした生活を送ること(「エイジレスライフ」)を積極的に行っている高齢者や団体などを広く紹介している。

平成23年度は、栃木県レクリエーション協会所属の亀田訓利氏が受章された。

### レクリエーション運動普及振興功労者表彰(理事長表彰)

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた方を、加盟団体より推薦を受け、滋賀県で開催された、「第65回全国レクリエーション大会INしが」において表彰した。

* 被表彰者	都道府県レクリエーション協会推薦	113名
	種目・領域加盟団体推薦による推薦	15名
	合 計	128名

### 紺綬褒章

平成23年度は、紺綬褒章の該当者はなかった。

## 2)会議等の開催

### 理事会

第1回 平成23年4月25日(月) 15:00~17:00

TK-WESTビル1号館 6階

#### <議 題>

- 平成23年度 事業計画について
- 平成23年度 収支予算について
- 評議員会招集について

名誉顧問について  
その他

第2回 平成23年6月16日(木) 15:00~17:00  
水道橋西口会館6階 会議室

< 議 題 >  
平成22年度 事業報告及び財務諸表について  
公益財団法人日本レクリエーション協会の規程類の制定・改正について  
その他

第3回 平成24年3月22日(木) 15:00~17:00  
TK-WESTビル1号館 6階

< 議 題 >  
平成24年度 事業計画(案)について  
平成24年度 収支予算(案)について  
評議員選定委員会運営規定(案)について  
評議員選定委員会の外部委員について  
平成26年度第68回全国レクリエーション大会の招致について  
評議員会の開催について

評議員会

定時評議員会 平成23年6月22日(金) 15:00~17:00  
水道橋西口会館6階 会議室

< 議 題 >  
評議員会会長の選任  
議事録署名人の選出  
平成22年度事業報告及び決算報告  
常勤役員の報酬の額について

[平成23年度都道府県別公認指導者数一覧]

(平成24年3月31日現在)

	所属協会	指導者数	レク・インストラクター	余暇開発士	レク・コーディネーター	福祉レク・ワーカー	のべ人数
01	北海道レク協会	3,757	3,676	9	103	63	3,851
02	青森県レク協会	1,385	1,310	2	23	110	1,445
03	(特)岩手県レク協会	1,393	1,336	5	50	73	1,464
04	(特)宮城県レク協会	1,804	1,620	7	83	170	1,880
05	秋田県レク協会	780	725	3	38	42	808
06	山形県レク協会	673	565	7	17	117	706
07	(特)福島県レク協会	1,651	1,566	7	43	98	1,714
08	茨城県レク協会	1,785	1,578	21	56	328	1,983

09	栃木県レク協会	1,554	1,493	10	41	268	1,812
10	群馬県レク協会	1,890	1,824	8	28	136	1,996
11	埼玉県レク協会	2,502	2,388	48	82	157	2,675
12	千葉県レク協会	2,436	2,320	65	99	122	2,606
13	(特)神奈川県レク協会	2,627	2,506	54	105	90	2,755
14	(社)東京都レク協会	4,333	4,018	134	219	303	4,674
15	(社)新潟県レク協会	3,239	3,143	186	115	646	4,090
16	(特)富山県レク協会	950	908	10	43	37	998
17	(財)石川県レク協会	665	639	8	28	42	717
18	福井県レク協会	735	685	7	35	105	832
19	山梨県レク協会	325	313	7	10	8	338
20	長野県レク協会	1,439	1,387	13	57	75	1,532
21	(特)岐阜県レク協会	1,414	1,339	9	43	127	1,518
22	静岡県レク協会	2,150	2,030	21	77	221	2,349
23	愛知県レク協会	3,645	3,409	19	160	295	3,883
24	(社)三重県レク協会	1,398	1,332	9	66	107	1,514
25	滋賀県レク協会	577	527	10	34	55	626
26	京都府レク協会	972	915	14	52	57	1,038
27	(財)大阪府レク協会	3,410	3,171	68	181	240	3,660
28	(特)兵庫県レク協会	3,225	3,060	123	94	266	3,543
29	(特)奈良県レク協会	433	400	17	26	23	466
30	和歌山県レク協会	699	671	6	23	54	754
31	鳥取県レク協会	523	503	3	17	36	559
32	島根県レク協会	931	903	4	31	47	985
33	岡山県レク協会	1,579	1,421	13	65	330	1,829
34	広島県レク協会	2,589	2,213	56	90	374	2,733
35	(社)山口県レク協会	1,349	1,307	10	46	127	1,490
36	(特)徳島県レク協会	1,025	897	5	16	127	1,045
37	(特)香川県レク協会	1,149	1,132	4	15	30	1,181
38	(特)愛媛県レク協会	1,581	1,539	8	27	91	1,665
39	高知県レク協会	819	805	1	13	21	840
40	(特)福岡県レク協会	3,487	3,329	56	152	154	3,691
41	佐賀県レク協会	795	780	9	11	169	969
42	(特)長崎県レク協会	1,569	1,534	8	35	70	1,647
43	熊本県レク協会	1,438	1,412	4	25	47	1,488
44	大分県レク協会	1,272	1,221	11	47	63	1,342
45	宮崎県レク協会	1,149	1,112	4	44	42	1,202
46	鹿児島県レク協会	1,680	1,571	11	59	265	1,906
47	沖縄県レク協会	1,211	1,170	4	53	54	1,281
	合計	77,992	73,703	1,118	2,777	6,482	84,080